

運審連委員 サロン

放置竹林

清水西公民館運審委員長 小林 隆 男

放置竹林とは、持ち主によって計画的に管理されず、竹が生えるがままに放置された竹林のことです。

竹は古くから、建材、日用品、食材など、さまざまな形で私たち日本人の生活を支えてきた植物です。しかし近年、全国で管理されていない竹が増え過ぎる放置竹林問題が深刻化しています。

そこで、清水西地区においても、放置竹林対策として、「メンマ作り」、「竹細工」を行っています。

「メンマ作り」は、大きくなってしまったタケノコを採ってきて、茹でて塩漬けし、好きな時に塩抜きして、メンマとして食します。毎年たくさんの方に参加して頂き、大好評です。

「竹細工」の方は、孟宗竹、真竹と色々な竹の種類がありますが、真竹を使用し、竹ヒゴにします。この竹ヒゴにするのが難しく、苦戦していますが、竹籠を編み出すと、皆さん夢中になり楽しんで取り組んでいます。

こうした活動の広がりによって竹林の整備や竹の活用が進み、さらにそれを継続するための人材づくりも続けていければ、放置竹林問題は解決に繋がるのではと思います。



歴史学習会

一乗公民館 運審委員長 坂下 義 博

公民館の事業で、清流大学の講座に参加しています。地区内の歴史や野外研修を通じ学級生同士の交流を深めています。今年度は地域に戦国時代より伝わる、一乗滝より林道を進んだ所にある砥石山に行ってきました。名前の通り砥石が採掘された所です。江戸初期の文献にも越前の主要産物として記載されています。明治時代には万国博覧会にも展示されたとあります。車や重機のない時代の過酷な労働が思い浮かびます。ちなみに昭和 40 年頃まで採掘をしていたと聞いています。また、7月には野外研修にも行ってきました。その他 12 月には、公民館と一乗小学校玄関に地区民がすこやかな新春を迎えられるよう門松を作っています。今後も学級生一同親睦を深めながら活動していきたいと思います。



令和7年度運審連 役員は次の方々です

役職名	氏 名	ブロック	公民館	所属委員会	役職名	氏 名	ブロック	公民館	所属委員会
会 長	見谷 貞次	あすま	啓 蒙	統 括	理 事	八幡 亨	九頭竜	河 合	広 報
副会長	清水 正寛	九頭竜	中藤島	調査研究委員長	〃	西 和成	九頭竜	森 田	調査研究
〃	向嶋 純一	光	一 光	広報委員長	〃	小林 隆男	光	清水西	広 報
理 事	田中 元彦	あたご	木 田	広 報	〃	竹内 将人	光	清水東	調査研究
〃	田村 洋子	あたご	豊	調査研究	〃	内田 信行	川 西	本 郷	広 報
〃	江川 政博	不死鳥	順 化	広 報	〃	林 惣示	川 西	宮ノ下	調査研究
〃	森川 清和	不死鳥	旭	調査研究	〃	柳生 薫	足 羽	酒 生	調査研究
〃	掛谷 龍一	みなみ	社 南	広 報	〃	坂下 義博	足 羽	一 乗	広 報
〃	飯田 博明	みなみ	社 西	調査研究	監 事	清水 正明	川 西	鶉	広 報
〃	春木麻紀子	あすま	円 山	広 報	〃	中川 治	足 羽	文 殊	調査研究
〃	松井富美恵	あすま	岡 保	調査研究					

編集後記

今年の夏も連日暑い日が続く折、「絆」第76号発刊に向けて、原稿作成や取材等にご苦労されたことと思います。

それぞれの担当の皆様のご努力により、無事刊行を迎えることが出来たことに感謝申し上げます。

2025年(令和7年)10月3日発行

運審連だより
きずな

第76号



福井市公民館運営審議会連絡会

事務局 中央公民館内
福井市手寄1-4-1 アオッサ5階
TEL20-5459・FAX20-1538

伝統革新



社南地区について

社南公民館運審委員長
掛 谷 龍 一

昨年度の社南公民館事業、「文化薫る秋の公民館」において催された“優しい茶の湯”では、伝統文化と現代のデジタル技術が見事に融合を遂げました。モニターを通してお点前の繊細な手元が映し出される工夫により、来場された方々はお茶をいただく前の過程にも心奪われ、茶の湯の奥深さを存分に堪能することができました。この試みは、デジタル化を推進する社南地区の一助ともなり、伝統を重んじながらも革新を取り入れる姿勢の象徴と言えるでしょう。これからもこのような場でモニターを活用し、人々の心を結びつける新たな文化体験を創出することに期待が寄せられます。優美さと技術が調和した未来が、さらに輝きを増すことでしょう。



会 長 あ い さ つ

福井市公民館運営審議会連絡会 会長
啓蒙公民館運審委員長 見谷 貞次

暑かった夏も終わり、少しずつ秋が深まって参りました。
あっという間にまた冬が訪れるのでしょう。

昨年に引き続き、令和7年度も福井市公民館運営審議会連絡会会長を務めさせていただいており、皆様方には日頃より公民館並びに運営審議会に御協力を賜り地域の発展に寄与されていることに心より御礼申し上げます。公民館活動や地域の多くの活動等は単に地域の親睦に留まらず、人々の安全を守る活動拠点も兼ね備えた位置づけとなってきており、大震災や洪水、そして犯罪の防止などに気を配り、もしもの時の対策の訓練を通して日頃から備えていかなければなりません。ブロック研修会を始め、各地区の活動をも参考に益々住み良い地域づくりに尽力していきたいと考えております。皆様の御理解と御協力をお願いし、今後とも尚一層の地域活動の向上へ御尽力をお願いいたします。



令和7年度 福井市運審連総会・ 研修会の報告

福井市公民館運営審議会連絡会 副会長
一光公民館運審委員長 向嶋 純一

福井県自治会館 多目的ホールに於いて、去る5月17日(土)10時より令和7年度運審連総会・研修会が開催されました。

見谷会長の挨拶に続き、西行市長、中村市公連会長の祝辞があり、令和6年度社会教育功労者表彰の報告の後、総会が開催されました。

湊公民館の河端委員長が議長につき、令和6年度事業報告から令和7年度収支予算案まですべて承認され、滞りなく総会は終了しました。

全体研修会では、放送作家・漫才作家の村瀬健氏の講演があり「お笑い芸人に学ぶ！豊かな人間関係を築くためのコミュニケーション術」をテーマに【人間関係の鉄則】【会話の鉄則】【共感のポイント】【叱り方のポイント】などクイズ形式で行われ、時間を感じさせない楽しい研修会となりました。



公民館活動紹介

順化地区

順化公民館

(不死鳥ブロック)

多様な地域行事を一致団結して

運審委員長 江川 政博

令和7年度の順化地区総合防災訓練は、16年振りに福井市の重点地区となり、自主防災組織連絡協議会を中心に自治会連合会や地区の各種団体の協力のもとで行われました。当日は荒木副市長、塚本中消防署長はじめ総勢477名の参加者で、災害情報収集伝達、倒壊家屋救出、応急救護所設営、炊き出し、初期消火、福祉避難所開設移送、消防団の小型ポンプ操法の各訓練と見学など盛大に行われました。全体的にスムーズにいきましたが、反省点も2、3見つかり、やはり毎年の訓練が必要だと痛感しました。

他に順化地区全体の行事としては、区民体育大会、敬老会、お堀の灯り(お堀に数千の灯りを浮かべ、戦災や震災の犠牲者を鎮魂)、順化地区万霊供養塔法要・交通安全祈願祭、ふれあいまつり(公民館まつりと学校親子まつりの共催)、地区新年会等を、担当団体の企画で各種団体全てが協力し、盛大に開催されます。



円山地区

円山公民館

(あずまブロック)

リゾット米で地域を元気に！

運審委員長 春木 麻紀子

円山地区では、お米作りを通じて地域を元気にする、素敵なプロジェクトが進んでいます。作っているお米は、私たちが普段食べている「うるち米」とは少し違います。2020年に福井県農業試験場が開発した「越のリゾット」。煮込んでも一粒一粒がしっかりしていて、本場の味が手軽に楽しめるという新しい品種のお米です。

円山小学校の5年生が授業の一環として、地域の農家の方々と米作りに挑戦しています。6月の田植えでは、初めての泥の感触に「わー!」「きゃー!」と大はしゃぎ。小さな手で一生懸命に苗を植える姿が見られました。秋の稲刈りでは、ちょっぴり緊張しながら鎌を握り、黄金色に実った稲穂を収穫しました。田んぼでの作業は、子どもたちにとって、食べ物はどうやって作られるのかを知る貴重な体験です。地域の方々との作業は学校の授業だけでは学べない、温かい心の交流が生まれています。

子どもたちの元気な声と、地域の方々の優しい眼差しが育てた「越のリゾット」。ぜひ皆様のご家庭でも、この特別な物語の詰まったお米を味わってみてください。きっと、いつもより「おいしい!」の笑顔が広がるはずです。

